

チャレンジ！「支援の依頼」

指導計画

	内容	留意事項
<p>教室配置</p>	<p>＜グループディスカッションエリア＞</p> <p>＜ロールプレイ・講義エリア＞</p> <p>パソコンノートテイカー</p> <p>モニターまたはスクリーン (パソコンノートテイク表示)</p> <p>ホワイトボード</p>	<p>グループディスカッションエリアには、筆談機器、筆談用紙などを用意する。</p> <p>パソコンノートテイク用のモニターには、ロールプレイ中のやりとりを表示し、グループディスカッションエリアで観察している学生にのみ提示する。</p>
<p>情報保障</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修中は、講師が手話や文字を用いて学生と直接やりとりを行い、全員に伝わったことを確認しながら進行する。ただし、手話のわからない学生等で、文字による支援の申し出があった場合には、研修の効率性と内容の重要性を鑑みて個別にサポートする。 ・グループディスカッションの時間は、原則としてパソコンノートテイクを利用せず、手話や身振り、筆談器等を活用して直接コミュニケーションをとる。 ・ロールプレイの際は、観察している学生にのみパソコンノートテイクを提示し、学生役と教員役のやりとりの内容を確認する。実際にロールプレイを行っている学生は、パソコンノートテイク用モニターを見ずに、教員役と直接コミュニケーションをとる。 	
<p>進行・展開</p>	<p>○自己紹介・主旨説明 (3分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師から、研修の目的と進め方について説明する。 ・「次回の授業で、ビデオを見てその内容について試験をします」と言われた時、どのような依頼をするか？考えてもらう。 	

	<p>○グループディスカッション (5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生間でどのような対応をすれば良いかを考え、アイデアを出し合う。 ・グループの中で1名、ロールプレイを行う担当者を相談して決める。 <p>○ロールプレイ (1回目) の実施 (5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員役の先生に対して、授業終了後、配慮を依頼するという設定でロールプレイを行う。 ・教員役は基本的に音声を用いて対応し、学生の求めに応じて筆談等を交えながら、コミュニケーションを取る。この際、学生にはできるだけ「何に困っているのか?」「どうして欲しいのか?」を明確に伝えるよう求め、学生の側から現実的な解決策が提示されるまでは、厳しい態度を維持する。 ・学生役は、教員役の理解を得るにはどうしたらよいか考え、短い時間で効果的に説得できるよう努力する。 ・残りの学生はこの様子を観察し、改善点を検討する。 <p>○講師を介しての問題点・改善方法の検討 (5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイ終了後、学生役、教員役からそれぞれ感想を話してもらう。 ・観察していた学生にも気づいた点をあげてもらう。 ・講師が用意したポイントを提示し、ロールプレイの成功点、不足点を整理する。 ・再度、グループで改善方法を協議する。 <p>○ロールプレイ (2回目) の実施 (5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の反省点をふまえ、もう一度ロールプレイを行う。 ・学生役は同じ学生が再度チャレンジしても、別の学生に交代してもよい。 <p>○講師を介しての問題点・改善方法の検討 (5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目の後に提示したポイントに照らして、改善点について確認する。 <p>○まとめ (2分)</p>	<p>やりとりの様子はパソコンノートテイクを用いてモニターに表示し、観察している学生が内容を理解できるよう工夫する。</p> <p>研修全体に時間的な余裕があれば、パソコンノートテイクのログを見ながら、やりとりの流れを確認するとよい。</p>
指導教材	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド資料 	